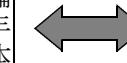


# 2020年度 古典B 第6回スクーリング資料

## 項羽と劉邦 鴻門之会

一、『史記』基本データ ①作者：司馬遷（しばせん） ②成立年代：前漢 ③ジャンル：歴史書 ④巻数：一三〇巻  
 紀伝体（きでんたい）：本紀（各王朝、各帝王中心の歴史）と、列伝（個々の重要な人物の伝記）から成り、それぞれの書物から一字ずつ取つてこのように呼ばれる。同時代のことが何度も重複して出てくるが、一つの国や人物のことがまとめて掲載されているので分かりやすい。



**編年体**（へんねんたい）：全ての事柄を時代順に並べていく歴史書の書き方。全体の流れが掴みやすいという利点がある。

二、レポートで「沛公」と出てくる人物は「劉邦」と同一人物です。「劉邦」の画数が多く書きにくいという人は「沛公」と書いてもよろしい。P202下段説明

・レポートには三か所の（カツコ）がありますが、一つ目のカツコは教科書P202のあらすじ部分をしつかり読めば記入可能。

二つ目のカツコはP204 L3「とりなしを頼んだ。」ことと、地名が分かれれば記入できる。

三つ目のカツコは沛公を殺そうと剣の舞をしている場面、項莊が攻め、項伯がそれをかばうように妨害していることが読み取れれば（P205 L8～9）、次の行から樊噲に相談する人物が出てくるのがスムーズに分かるはず。

### 項羽、大いに怒る

一、「急撃、勿失」とは、どのような意味か。レポートは現代語訳する問題。

：沛公に天子となる気が見えるので、天下を取る前に攻撃してしまわないといけないという意味。

### 剣の舞

P204 L7 謝：ここでは「陳謝・謝罪」の意味。わびる。あやまる。

L8 与：ここでは助詞として「と」と読むが、他に動詞として①くみす、②あづかる、③あたふと読みます。また、助詞的には④ともに（L13にあり）、⑤より、⑥（）か、などと読みます。

一、「不自意」：本文から抜き出す問題です。「白文」で抜き出すという条件もあります。

二、小人：取るに足りないつまらない人物。令：使役（～させる）：将軍に、私との仲を仲違いさせる。

三、「項王」以下の席の位置は、どうなっているか。：L13 項王・項伯は「東嚮」してとありますが、レポートの図中では「西」という文字の近くにいます。「東を向くためには西にいなければならない」と考えて三、に取り組んでください。

四、P205 L2 「数」、L3 「三」はどちらも「何度も」という意味。

五、「默然不応」の項王の気持ちはどのようなものか。：謝罪に来た沛公の態度を見て「大怒」の気持ちが冷めたことが分かる。（酒宴を催したり、自分を本名で言つたり、（P204 L11に「籍」という本名あり。）打ち解けている様子がある。）

L4 為人（ひととなり）：性格。

L5 坐：その場にいて

四、P205 L2 「数」、L3 「三」はどちらも「何度も」という意味。  
 ①④③② ①～⑤は読む順番。「且」は再読文字なので①と⑤で二回読んでいます。  
 L6 且為所虜 ①～⑤は読む順番。「且」に虜とする所と為らんとす → 再読文字二回目は「ひらがな」で書き下す。

### 樊噲、頭髪上指す

P206 L1 ①其意常在沛公也：①項莊の気持ちは常に沛公に向かっている（沛公を殺すことで頭がいっぱいだ）

一、「甚急」「此迫矣」という短文の表現は、どのような効果を上げているか。：例・隣の家が火事の時に「隣の家が火事なので、消防車を呼んでください」と言うかどうかを考えてみよう。「火事だ！」「きやー」と言うはずです。

二、「西嚮立」について樊噲の正面にいるのは誰か。：樊噲は「帷」（垂れ幕）を開けて東に立っています。部屋の西には誰がいますか。（レポート図参照）

三、「頭髪上指、目眦尽裂」：とても怒り、興奮し、髪の毛が逆立っている、目が血走り、見開いている様子。

四、「覆其盾於地・・・切而啖之」の表現は、どのような効果をあげているか。：樊噲の豪快さ、大胆さ、荒々しさが、それを見ている項羽にどんな気持ちを持たせるか、考えてみよう。

L11 能：（よく）～できる。（可能の「能」）

♪ P207 L1 Aすら且つX。B安んどY。

・Aという重いものでさえ私はXである。まして、Bという軽いものをどうしてYしようか。

※ここでは、Aに「死」という重いものを挙げ、Bに「大盃の酒」を挙げている。そこで訳は、「私は死という重いものでさえ避けないので、酒という軽いものをどうして辞めようか、いや、辞めない」となります。

（アーティスト）のアーティスト（アーティスト）。

五、細説：つまらない者の言うこと、という意味ですが、現在「物語」の意味で使われている「小説」も「つまらない話」という意味です。これは「漢詩文学」と比べて、中国では物語の地位が低かつたことからです。

沛公、虎口を脱す

三、亜父（あほ）：「亜」は準ずるもの、次ぐもの、という意味。「熱帶」に次ぐのが「亜熱帶」、「寒帶」に次ぐのが「亜寒帶」、「鉛」に似てているのが「亜鉛」です。

P208 L10 間行<sup>はかり</sup> P209 L1 至軍中<sup>しぐんちゆう</sup> 両者とも「ひっそり」「しのんで」という意味があります。スペイのことを「間諜」（ひっそりと謀<sup>む</sup>をする人）といいます。

# 諸家の思想 莊子 胡蝶之夢

一、「道教」とは：中国において「三教」のうちに数えられる代表的な宗教で、英語では「タオイズム」として世界的に知られています。道教哲学の源は老子と莊子の唱えた「道」と「無為自然」の思想があります。老子と莊子の思想があわせて「老莊思想」とも呼ばれます。

※ 儒教の「人為的」な教義を否定して、「道」のままに任せて生きることに真理があるとする考え方です。

P 225 L 2 昔者（むかし）…「者」は助字で二字で「むかし」ということに注意！  
P 204 L 11 今者（いま）という読みも  
あります。

L2 夢に蝶と為る（夢の中で蝶となつた）

「然るにかうべく、おまえの心を、おもてなす」急いだふうで、向こうへ向って、

L7 物化：万物のきわまりない変化。蝶であるときの莊周も本物だし、莊周であるときの蝶も本物だ。||夢も現実もいうこと。

弓き続いた同じものだ  
といふこと